

令和元年度「情報通信月間」東北総合通信局長表彰

【個人】

(敬称略)

被表彰者	主な功績
おもと よしあき 根元 義章 東北大学 名誉教授	多年にわたり情報通信技術の利活用による地域の活性化に資する産学官連携の取組を主導するとともに、東北情報通信懇談会の運営委員長としてその運営に尽力するなど、東北地域における情報通信の普及発展と産学官連携の推進に多大な貢献をされました。

【団体】

(敬称略:五十音順)

被表彰団体	主な功績
岩手県 (知事 <small>たっそ たくや</small> 達増 拓也)	いち早く情報通信基盤整備のための体制を整え、地域情報化に取り組み県民に対して最新の ICT 技術に触れる機会や知識の提供を継続的に行うとともに「地域課題解決マッチング会」に全面的な協力をするなど、地域 ICT/IoT 実装の推進に多大な貢献をされました。
ふくしま未来農業協同組合 (代表理事組合長 <small>かんの たかし</small> 菅野 孝志)	環境中の微量なエネルギーを電力に変換する「エネルギーハーベスティング」という技術を用いた電源工事不要の圃場センシングによって、生産管理を行うシステムを業界で初めて導入し、農業生産性の向上を図るなど、ICT 技術の活用による地域の活性化に多大な貢献をされました。
南会津町 (町長 <small>おおや そうきち</small> 大宅 宗吉)	広大な面積を持つ町内に点在する水道施設の多様な監視・管理をクラウドシステムの導入によって効率化することにより、ICT技術を活用した住民サービスの向上に多大な貢献をされました。
湯沢市 (市長 <small>すずき としお</small> 鈴木 俊夫)	リアルタイム屋外監視システムの構築により農業生産性の向上と新規就農者の拡大を図るとともに、遊休スペースにシェアリングエコノミーサービスを導入するなど、地域 IoT 実装に取り組み地域情報化の推進に多大な貢献をされました。